

北九州開催 <北九州焼きうどんラウンド> R3.2.20(Sat) 北九州市立南小倉中学校



## 北九州焼きうどんラウンドが開催されました。

(参加者：小学校教員3名、中学校教員11名、高等学校教員1名、指導主事2名、大学教員2名、合計19名：急な開催にも関わらず遠方からも多くの参加をいただきました。ありがとうございました。)

当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ZOOM 使用によるオンライン開催としました。佐藤先生にはコロナ禍にありながら無理を言って来北していただき、熱心な議論を展開していただきました。

### 1 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部 スポーツ教育学科 教授 佐藤 豊 先生による話題提供

今回は、中学校新学習指導要領の実施直前ということもあって、佐藤先生に評価について情報提供していただきました。まずは、これから目指す体育で考える資質・能力の解説から入りました。これまでの体育を取り巻く周辺の状況（教育界・世界等）を含めて話をしていただきました。今一度、体育の今までを振り返ってから、これからを考えねばならないというスタンスに立ちました。さらに、3つの資質・能力の関連、特に見えにくい学力としての思考・判断・表現、見えない学力としての関心や意欲について、「確かな学力」の冰山モデルが提示され、小中の深さや表出の仕方に違いを考えた後、4つのグループに分かれて意見交流しました。



### 2 令和元年～2年国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業の研究報告

令和元年から2年間、国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業の委嘱を北九州市の南小倉中学校が受けていましたので、研究報告をしていただきました。特に今年度はコロナ禍ということもあり、実践の工夫が大変だったと推察します。実践者によるプレゼン発表の後にグループに分かれて感想や意見の交流を行いました。話題は、ICTの活用、男女共習、ジグソー活動、運動従事時間の確保、深い学びとは、教師の指導性等様々でした。元教科調査官の日本女子体育大学の高橋教授から、学校全体で授業改善に取り組むことで学校がよくなっていく例をたくさん見てくださいました、今回の南小倉中学校の実践は、まさしく新学習指導要領が目指しているものと一致しますとまとめていただきました。発表者だけでなく、参加した現場の先生や指導主事とも熱心な議論を重ねることができました。(報告：井上)

